

テーマ

エネルギー地産地消型まちづくり「地域油田をエコバスが走る」社会実験による
 環節都市モデルからバイオスフィア大都市圏構想

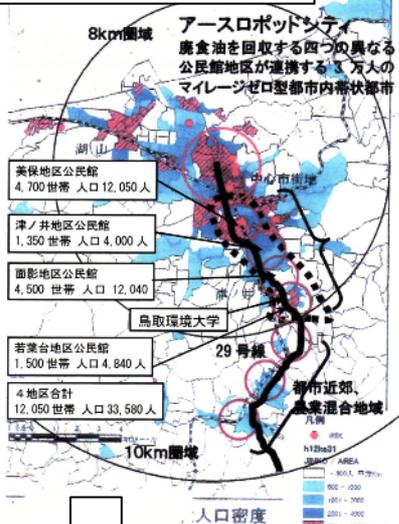
発表者

吉村元男鳥取環境大学客員教授

概要 鳥取市の4公民館地区約3万人を対象として回収した天ぷら廃油である未利用バイオマスで実施したエネルギー地産地消の「地域油田をエコバスが走る」の社会実験によって、石油ゼロを目指す7プロジェクトからなる10万人の環節都市モデルを作った。このモデルを駆使して部分から全体、小規模から大規模へというオセロゲーム方式により地球温暖化の原因である大都市圏をバイオスフィア大都市圏へ転換し、大幅なCO2排出削減を目指す。

(発表・研究内容)

3万人環節都市
 アースロッドシティ地域油田を
 エコバスが走る社会実験

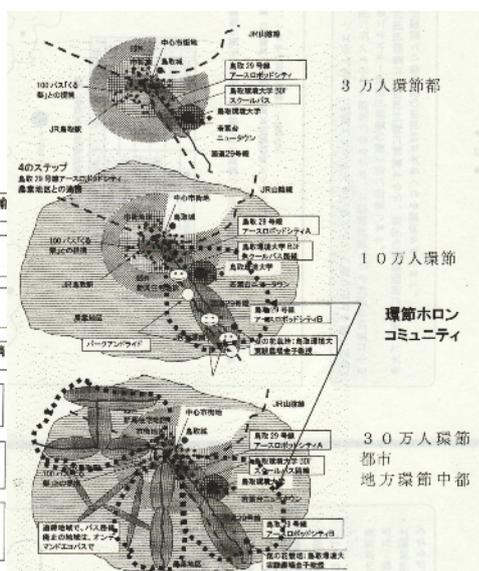
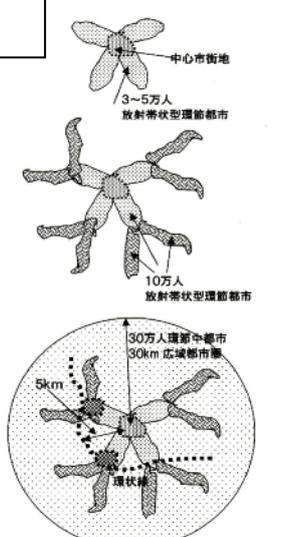
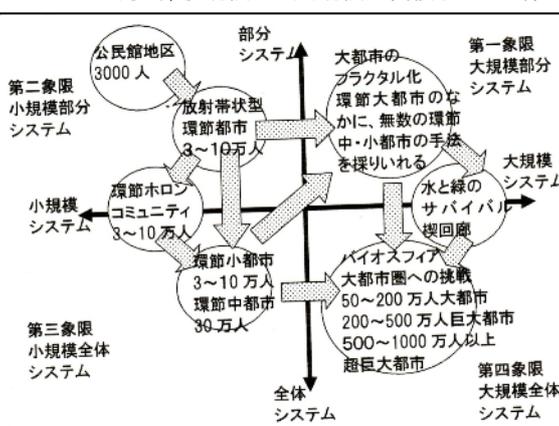


石油ゼロ型まちづくりのための7つのプロジェクト



10万人放射帯状型
 環節都市のための
 7つのプロジェクト

石油依存型大都市圏を、バイオスフィア大都市圏へ
 オセロゲーム方式;小規模から大規模へ、部分から全体へ



30km鳥取環節
 中都市圏30万人)

3万人環節都市から30万人
 環節中都市圏の発展モデル
 と環節ホロン・コミュニティ構想

【来場者へのメッセージ】Think globally,Act locally を旨とした市民主体、地域連携の地球温暖化防止を目指す街づくりには、いままで誰も経験したことのない社会モデルが必要である。それは地球規模の環境問題を引き起こしてきた石油依存型の大规模集中システムに代わり、持続可能なエネルギーによる小規模自律分散システムへの転換であり、その手法開発は、全国最小人口県である鳥取から全国に向けて発信できる。

連絡先: 鳥取環境大学環境デザイン学科客員教授 吉村元男
 京都市左京区北白川下池田町 67 電話; 075-781-4418 E-meil.zero@kankyo-u.ac.jp

分野 バイオ、環境、リサイクル、エネルギー、食品、生活、社会、その他(都市、交通運輸、)